Hitachi Koki

日立タッパ

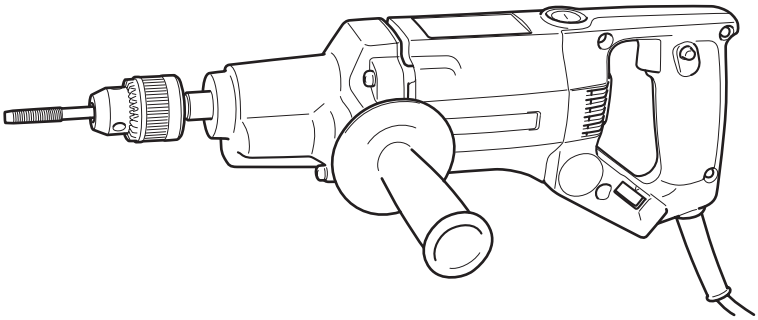
〔電子制御付〕

8㎜ UT 8V 〔タップは付属しておりません〕

取扱説明書

このたびは日立タッパをお買い上げいただき，
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大
切に保管してご利用ください。

二重絶縁



HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

タッパの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……6

仕　　様 ……6

標準付属品 ……7

用　　途 ……7

作業前の準備 ……7

ご使用前に ……8

使　い　方 ……9

保守・点検 ……11

ご修理のときは ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠ 警 告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品のすえ付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨の中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態，部品の破損，取付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⧈ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⧈”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店に依頼してください。

タッパの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，タッパとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に速くなり，けがの原因になります。

② **作業する箇所に，電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを，作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると工具が触れ，感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり，事故の原因になります。

③ **使用中は，サイドハンドルを付け，両手で本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ **使用中は，回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑤ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音や異常振動がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 注　意

① **タップは，取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
回転部に巻きこまれ，けがの原因になります。

③ **穴あけ直後のタップや切りくずは高温になっているので，触れないでください。**
やけどの原因になります。

⚠ 注　意

④ 高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

⑤ 回転させたまま，台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

各部の名称

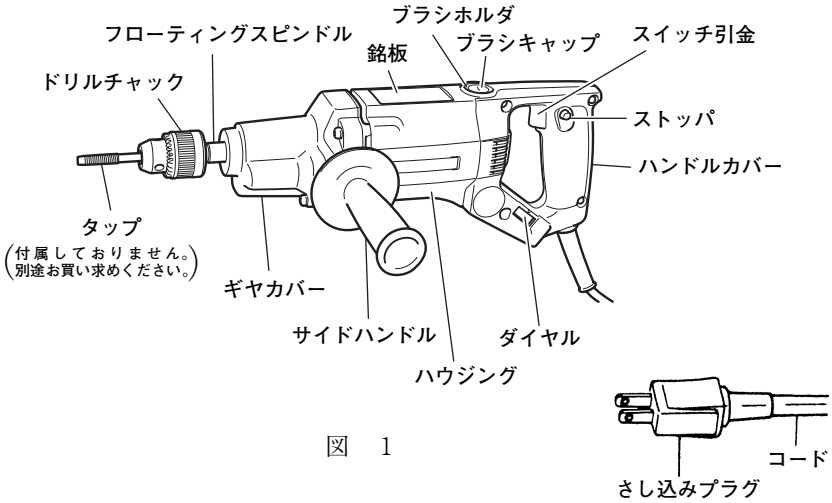


図　1

仕　　様

使用電源	単相交流 50／60 Hz　共用
	電　　圧 100 V
ネジ立て能力	鋼　　材……3 ㎜ ～ 8 ㎜，アルミニウム……3 ㎜ ～ 10 ㎜
モーター	単相直巻整流子モーター
全負荷電流	3 A
消費電力	285 W
無負荷回転数	ネジ立て…… 60 ～ 330 min^{-1} {回／分}
	もどり…… 120 ～ 660 min^{-1} {回／分}
質　　量	2.7 kg（コードを除く）
コード	2心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

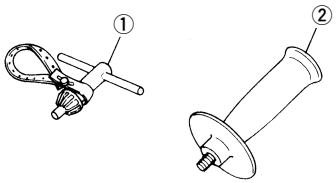


図　2

① チャックハンドル……1個
② サイドハンドル……1個

用　　途

○各種鋼材，銅合金，アルミニウムなどのねじ立て

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告
• **継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 ㎟	20 m
1.25 ㎟	30 m
2　㎟	50 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り，はなすと切れます。スイッチの引金を引き，はなしたとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．サイドハンドルを取付ける……

サイドハンドルをギヤカバーにねじ込んで，本体にしっかりと固定してください。

4．タップを取付ける……

⚠ 注　意

- **仕様欄にある本機の最大ねじ立て能力を超えた作業はしないでください。反力が大きくなり，けがの原因になります。**

必ずチャックハンドルを用いて確実に締付けてください。チャックハンドルを入れる穴は3ヵ所あります。1ヵ所だけきつく締めず，3ヵ所順次均等に締めてください。

■使用タップは

○タップは，先タップか中タップをご使用ください。

○８㎜以上のタップを使用する場合で，チャックとタップの間にすべりが生じるようでしたら，次のいずれかの処置をとってください。

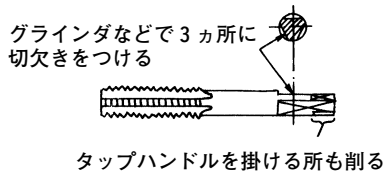


図　3

- 切削剤を十分塗布する。
- 最初に先タップを使う。
- タップのシャンク部に切欠きを付けチャックのつめが掛けられるようにする。（図３）
- 切削トルクが小さいタップ（スパイラルタップ，スパイラルポイントタップ）を使用する。

５．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

使　い　方

１．スイッチの操作……

スイッチはスイッチ引金を引いてからストッパを押すとスイッチ引金から指をはなしても入ったままになっており連続運転に便利です。切るときは再び引金を引くとストッパがはずれます。（図１参照）

２．回転数の調整……

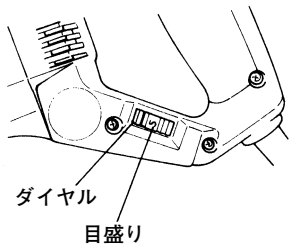


図　4

本機はタップの回転数を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。ダイヤルの調整によりタップのサイズ，ねじ立て材料，作業条件に合った回転数でご使用ください。

ダイヤルの目盛り〝１〟が最低速で，目盛り〝５〟が最高速です。（図４）

ダイヤルの目盛りが〝１〟のとき，電源事情などにより回転しなくなることがありますので，ご注意ください。

注 • **低速で長い時間作業しないでください。本機には強力モーターを使用しておりますが，低速で長い時間連続してねじ立て作業しますと，モーターに無理がかかり，故障の原因になります。とくにねじ立て中，タップが停止するような無理な使い方は避け，常に滑らかにねじ立てができるように回転数を調整してください。**

3．ねじ立て方法……

○ねじ立てする穴にタップを押しつけますと，フローテングスピンドル（図1参照）は押されて中に引っ込み，回転は正回転に切替わってねじ立てができます。したがって，ねじ立て中は常に軽く押しつけておくことが必要です。

○所定の深さまでねじ立てが終りましたら，軽く本体を引き戻してください。フローテングスピンドルは逆回転に切替えられ，自動的にタップが抜けてきます。

4．本体を押す力……

タッパのねじ立て速度は回転数によって決まってしまいますから，必要以上に押しても早くなりません。むしろ，タップを折ったり，ねじ山をつぶすなどの原因になりますので，フローテングスピンドルが押し出されてこない程度に軽く押しつけてください。

5．タップは下穴にならって……

タップは下穴にならって，まっすぐに入れてください。斜めに入れますとタップに無理がかかって折損の原因になります。

6．止まり穴をあける場合は……

止まり穴をあける場合は図5のようにしてください。

○必要なねじ深さになるようタップの先端からの寸法をとり，そこまでゴム管かビニールチューブをさし込んでおきます。

○ゴム管の端面がねじ立て面に触れたときタップを戻しますと，タップを折らずに同一寸法にねじ立てができます。

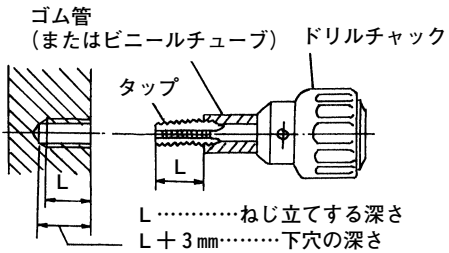


図　5

表　1

メートル並目ねじ	
ねじ径（㎜）	下穴径（㎜）
3	2.5 ～ 2.6
4	3.3 ～ 3.4
5	4.2 ～ 4.3
6	5 ～ 5.1
8	6.8 ～ 6.9
10	8.5 ～ 8.6

7．ねじ径と下穴の関係……

表1により適正な下穴をあけてください。

8．切削剤について……

タップの切れ味と耐久性をよくするため，加工物の材質にあった切削剤を使用することが大切です。

切削剤を使用することにより楽にねじ立て作業ができます。

適正切削剤は表2のとおりです。

表　2

加工物の材質	切　削　剤
鋳　　鉄	切削剤は用いない
鋼　　材	種油，非水溶性切削油
銅　合　金	軽油，スピンドル油
アルミニウム	軽油

注 **• 切削剤は本体に付着させないよう十分注意してください。**

9．ドリルチャックについて……

ドリルチャックは，テーパーでフローテングスピンドル（図１参照）に固定されております。万一ドリルチャックが脱落した場合は，チャックのテーパー部とスピンドルのチャック取付部の油やごみをきれいにふきとってから，チャックの３本のつめを引っ込ませ端面を木ハンマでたたき込んでフローテングスピンドルに取付けてください。テーパー部はキズなどつけないようていねいに取扱ってください。

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．タップの点検……

タップの切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとねじ立て能率が落ちモーターにも無理をかけることになります。

早めに新品と交換してください。

2．各部取付けねじの点検……

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度(6㎜)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

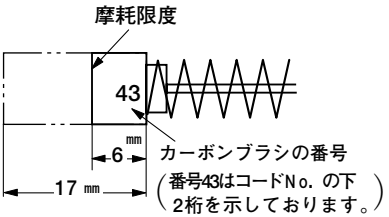


図　6

また，カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号(43)の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分はキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にごみやほこりがたまると，故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をハウジングのスイッチ側風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。**

5．表面のよごれの清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は，乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

メ　　モ

メ　　モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

WEBにアクセス

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

部品コード　C99002203　N